

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、新規求人数が前年比 17.4%と大幅に落ち込んだことが就職件数、充足数、早期再就職件数等に影響したと考えられたことから、主に電話での求人開拓を7月から開始しました（求人開拓数 282 件）。また、紹介成功率をアップさせるために、模擬面接（年間実施件数 22 名、実施人員 19 名に対して 18 名就職、就職率 94.7%）、求職担当者制の実施（就職率 79.5% 所平均就職率 44.6%）、所独自のハローワークセミナー（5 回で 17 名の参加）などの取組を行いました。

また、2年度から新たに「求人ミニ説明会」の取り組みを開始しました。（13 回開催し、4 名が充足）、一定の効果があり、また、参加した事業所からは好評で強く事業継続を要望されています。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員を中心に「雇用調整助成金の特定措置の拡大に関する研修」の開催、また、指宿市と共同研修「新型コロナウイルス感染症に対応するための施策について」を行いました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、早期再就職件数を増加させるために、認定日用「ミニ求人情報」を認定日前の雇用保険受給者に配布して認定の待ち時間などに見てもらいました。その他にも 8 種類の求人情報誌を発行して積極的に求職者に情報提供しました。（①「求人情報いぶすき」②「正社員特集」③「高齢者の方応援！求人情報誌」④「農業のお仕事特集 求人情報誌」⑤「ホテル・旅館のお仕事特集 求人情報誌」⑥「鹿児島南部職種別求人一覧【事務職編】」⑦「鹿児島南部職種別求人一覧【看護職編】」⑧「鹿児島南部職種別求人一覧【介護職編】」。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「求人ミニ説明会」は、5月に3回開催しましたが、コロナ変異ウイルス感染症の影響で6月以降は開催を見合わせております。事業所からは強く再開を希望されておりますので、再開時期を検討中です。所独自のハローワークセミナーも中止しており、模擬面接とビデオセミナーのみ実施しております。

また、今後はオンラインハローワーク紹介を進めるためにも、さらに求人者マイページ、求職者マイページの登録を推進いたします。

(4) その他業務運営についての分析等

令和2年年頭からの新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は、宿泊業・飲食サービス業をはじめ、多くの産業において事業活動の縮小を余儀なくされたことから、新規・有効求人数は前年度から減少しました。また、新規求職者数も減少し、感染拡大に伴う求職活動の長期化が見られました。そのような状況の中、職員のスキルアップや求人・求職者への個別支援の強化、DM・電話等によるマッチング支援の強化、人手不足分野等に対する地元自治体等と連携した情報提供などに積極的に取り組んだものの、求人ミニ説明会、所独自のハローワークセミナー等のイベントなどの取り組みが進まなかったこともあって紹介件数・就職件数ともに減少となり、総合評価における各実績数に多大な影響を及ぼす結果となりました

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
実績	1,020	933	261	94.2%	116	2,199	492		
目標	1,064	1,069	282	100.6%	70	2,420	500		
目標達成率	96%	87%	93%	94%	166%	91%	98%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率